

2023 年度春季 グローバル・インターンシップ(GI)プログラム 参加報告書

学部:社会学部 学科:社会学科 学年:2 年

① インターンシップ先

AM World Express(リムジン企業)

② 参加の目的

今回のインターンシップに参加した目的は、大きく分けて 2 つです。1 つ目は自らの英語力の向上です。私は将来、国内外問わず働きたいと考えており、将来の選択肢を増やすため、大学では自らの英語能力の向上のために努力していました。そのため、大学在学中に海外、特にアメリカへ訪れる経験がほしいと考えていました。留学も検討していたのですが、私は海外の大学で社会学を専攻するよりも、より実践的な、社会に出ての英語力を確認し、鍛えたいと考えたため、今回のグローバル・インターンシップの参加を希望しました。

③ 現地での活動内容(1 週目の合同ビジネス研修について)

1 週目(現地時間 2/28~3/3)での活動を報告します。私は羽田空港を出発し、ロサンゼルス国際空港(以下 LAX)に到着しました。空港到着後は Lighthouse(参加プログラム実施企業)の方が出迎えてくださり、そこから自力で集合場所である、Residence Inn by Marriott Los Angeles Torrance/Redondo Beach というホテルを目指しました。ホテルまでは自力でたどり着かなければいけなかったため、UBER という配車サービスを利用しました。アメリカではあまりタクシーはメジャーな移動手段ではないそうです。非常に高価な送迎量を請求する悪徳タクシーが多いためだといえます。そこで発展したのが、UBER,LYFTなどの、一般人が運転する送迎サービスです。タクシーと比較し、良心的な金額、多くのドライバーがいるため、アメリカでは近年、非常に盛んになってきているそうです。私は配車サービス用の送迎所に移動するため、空港から出ている無料のシャトルバスを利用しました。バスの車内には、白人、黒人だけでなく、アジア系、メキシコ系など、様々な人種の方がおり、それだけで自らがロサンゼルスにきたのだと改めて実感しました。送迎所に到着してから約 10 分程で、手配した車が到着しました。ドライバーに誰が手配したドライバーか、行き先がどこかを確認し、私は車に乗り込みました。走行中は見慣れない LA の風景を堪能しました。移動に freeway(高速道路)を利用したのですが、車線が 5 車線ほどある点、どの車もすごいスピードで運転している点、日本に比べて割り込みが激しい点に驚かされました。大体 30 分でホテルに到着しました。ホテルに到着してからは、軽い今後の説明などをされて、その日は就寝しました。しかし私は時差ボケがひどく、2 時間ほどしか睡眠できませんでした。

2 日目には、アメリカでの生活ということで、オリエンテーションを受けました。内容はアメリカでの過ごし方、インターンシップという機会をいただいて実際の企業に勤務する上での意識、公共交通機関の使い方などを学びました。

その後、バスでダウントウンへと移動し、コリアンタウン、チャイナタウン、リトル東京、オルベラストリートを車中から見学しました。ロサンゼルスは「人種のサラダボウル」といわれるほど多民族の州です。ロサンゼルス内ではそれぞれの人種、民族がそれぞれのコミュニティを形成し、その中で生活しているそうです。現地には韓国スーパー、中国スーパー、日本スーパーなどが数多くあり、多民族社会であることを非常に感じました。またロサンゼルスは身分の違いがはっきりしています。

その後、5 人の班に分かれて、ダウントウンを 3 時間ほど散策しました。ダウントウンは開発されている行政区と、旧倉庫街からなる下町で大きく分かれていると感じました。ロサンゼルスは地区によって、本当に治安が異なります。ダウントウンには Skid Row という地域があり、そこには立ち入らないように言われていました。その地域はホームレスや薬物中毒者が多く、貧困層やマフィアによる殺人・強盗・強姦・薬物売買などの犯罪が頻発する地域でした。この地域では政府が炊き出しなどの支援を行っています。そうすることでホームレスを一部の地域に集中させ、ほかの地域の治安を維持することができるそうです。この政策について伺った際、私は日本の政策との違いに驚きました。

3 日目には企業訪問で HONDA の本社と、バックアルターという法律事務所を見学しました。どちらでも海外で実際に働いている日本人の方から様々な話をうかがうことができました。また、2 つの企業訪問の間の時間に、ロサンゼルス港からボートに乗るツアーに参加しました。ボートの中では

船長がロサンゼルス港について様々なことを教えてくれました。

4 日目には、カリフォルニア大学ロサンゼルス校を訪問して、現地の学生と交流しました。前半は学生フォーラムと題して、「仕事」に対する意識をカードゲームを通じて議論したり、後半では 3 チームに分かれて、アメリカと日本の働き方を比較するプレゼンテーションをするなどして、キャリアについて様々な視点から考えました。

5 日目にはキャリアフォーラムということで、ロサンゼルスで近年働き始めた日本人の社会人の方を 3 名お迎えして、それぞれから話を伺いました。どの方も自らの将来像をはっきりと持っていて、その中で英語を武器として使っているということがわかりました。

④ 現地での活動内容(2 週目以降のインターンシップについて)

私が勤務した AM World Express は、30 年以上の経歴を持つ「リムジン企業」です。主な業務内容は空港からの送迎、配車、ツアーの企画などです。私は現地では、空港でのグリーティング、ホームページの作成、SNS(インスタグラム)の運用、空港 MAP の作成を行いました。インターン期間は、多くの場合午前中がグリーティング、午後にそのほかの業務を行いました。グリーティングとは、空港から出てきたお客様と、自社のドライバーを合流させる役割を担っています。私は主に HIS のお客様を対応しました。空港の入国ゲートの前で HIS と書かれたボードを持ち、出てきたお客様と合流します。その後自社のドライバーに電話をし、合流場所を当日の混み具合を考慮して伝達します。ドライバーが合流した後は、お客様の荷物を車へと積み込み、お客様を見送ります。これが一連の流れです。1 日に 3~4 組のお客様を対応しました。午後からはその他の業務を行いました。ホームページの作成では、AM World Express が企画、運営している「週末ツアー」というツアーを宣伝するための、ホームページの作成を行いました。企業の方にこういったことを宣伝したいのか、ツアーのイメージはどのようなものか、ターゲット層はどのような方かなど、様々な質問をしたうえで、デザイナーの方と協議しながら試行錯誤しました。SNS の運用では、現在どのようなタイプの投稿が人気なのか、ロサンゼルスの中でこういった観光地が人気なのか、こういったハッシュタグをつけるのがいいのかなど、様々な観点から考えて投稿しました。空港 MAP の作成では、LAX のターミナル 6 について、飛行機から出てから入国ゲートを通り、グリーターと合流するまでの MAP を作成しました。

空港への送迎、特に迎えは社長がしてくださいました。その際、様々な場所を訪れたり、ご飯に連れて行っていただきました。それに伴い、アメリカ、特に LA の生活や文化など、多くのお話を聞くことができたり、社長のこれまでの人生にまつわる、様々な話を聞けました。

会社では、多くの社員に様々な話を聞くことが出来ました。英語でのコミュニケーションはもちろんですが、社内では日本から来ている社員も多くおり、働き方について、日本とアメリカの違いについて、英語の学習についてなど、たくさんのためになる情報を聞けました。

⑤ インターンシップによって得られた学びや気づき

日本とアメリカの様々な違いに気が付きました。私は LA での移動は主にバスを利用していました。しかし LA のバスはまったく時間通りには来ません。むしろ時間より早く到着し、そのまま出発してしまいます。また、アメリカの店員は、お客と話し始めるとずっと会話しています。しかし、それについて文句を言う人は誰もいませんでした。私は、アメリカの人は自分のやりたいと思ったことは、周りからどういわれようとやるように思いました。日本では周りの目を気にする人が多いですが、アメリカは良くも悪くも、自分中心主義だと感じました。私はそういった環境の中で、引っ込み思案で周りを過度に気にしているのはもったいないと思い、日々やりたいと思ったことは全力でやろうと努力しましたし、疑問を持った際は解決するために積極的に質問しました。自らの積極性を高めるという点で、このインターンシップはとても有意義でした。

また、私は今回のインターンシップで多くの方の様々な働き方について知ることができました。現在私はまだ将来やりたいことが決まっていないのですが、それらの話はキャリアについて考えるにあたって、非常に参考になりました。

⑥ 準備期間・インターンシップ期間中に困ったこと、苦労したこと

バスの乗り換えには非常に苦労しました。時間通りには全く来ず、路線も非常に複雑だったため、現地の人に声をかけて尋ねるなど、大変苦労しました。

インターン期間の中で、一緒に仕事をしたドライバーが、スペイン語訛りの英語を話す人で、コミュニケーションに苦労しました。ジェスチャーを多用するなどしてなんとか会話を成立させ、その日の終わりには打ち解けることができました。

⑦ グローバル・インターンシップ(GI)プログラムに応募する後輩へのアドバイス

事前準備はしっかりするべきだと思います。生活用品の準備や、企業、ホームステイ先への連絡はもちろんですが、LA の文化や歴史、公共交通機関の利用方法など、LA のバックグラウンドをあらかじめ学習していると、プログラムの満足度が倍増すると思います。

⑧ 思い出の写真





この写真は、3/17に武蔵大学から一緒に参加した K 君とともに Hollywood 山に登った際に撮った写真です。1 枚目は Wisdom Tree という、Hollywood 山の山頂に一本だけ生えている木の写真です。Wisdom Tree は 2007 年におきた Hollywood Hills Fire で生き残った唯一の木だそうで、登頂した日も自分たちと同じように登山をしている人々を多く見かけました。山の麓までは車で移動して、そこからは大体 30 分ほどかけて登頂しました。頂上から見た景色は絶景で、それまでの苦労を吹き飛ばすような感動を受けました。2 枚目は Hollywood Sign の裏側から撮影した写真です。私は LAX へ仕事で行き来する際、いつも遠くに見える Hollywood Sign を眺めていました。そんなところへ自らの足で行ったこと、なかなか現地の人でもないかないうなところへと行けたことで、非常に達成感を味わうことができました。



この写真は、ビーチに行った際に撮った写真です。レドンドビーチからハモサビーチ、マンハッタンビーチまで歩きました。ハモサビーチ付近で、大谷翔平選手の壁画を訪れ、写真撮影をしました。そのままマンハッタンビーチまで歩き、その日は一日で3万歩ほど歩きました。歩いた街並みには、たくさんのおしゃれな家々があり、生活にとっても憧れました。